

2020年工業統計調査 確報集計結果

鳥取県の概要

全国及び地域別の工業の実態を明らかにするために、2020年（令和2年）6月1日を調査期日とし、すべての製造事業所を対象に実施した「2020年工業統計調査」の確報集計結果（鳥取県）を公表します。

なお、2019年工業統計調査結果を「前年」と表記しています。

1 事業所数、従業者数（令和2年6月1日現在・従業者数4人以上の事業所）

（1）事業所数 814 事業所

前年に比べて20事業所(2.4%)の減少

減少した主な産業は「金属製品」7事業所減、「プラスチック」5事業所減

（2）従業者数 33,444 人

前年に比べて479人(1.4%)の減少

減少した主な産業は「電子部品・デバイス」475人減、「生産用機械」172人減

(単位:事業所、人、%)

区分	事業所数				従業者数			
	令和元年	令和2年	増減数	増減率	令和元年	令和2年	増減数	増減率
鳥取県	834	814	△ 20	△ 2.4	33,923	33,444	△ 479	△ 1.4
全国	185,116	181,877	△ 3,239	△ 1.7	7,778,124	7,717,646	△ 60,478	△ 0.8

(注)令和元年は令和元年6月1日現在、令和2年は令和2年6月1日現在の数値。

2 製造品出荷額等、付加価値額（令和元年1年間・従業者数4人以上の事業所）

（1）製造品出荷額等 7,816 億円

前年に比べて240億円(3.0%)の減少

減少した主な産業は「電子部品・デバイス」172億円減、「生産用機械」61億円減

（2）付加価値額 2,476 億円

前年に比べて35億円(1.4%)の増加

増加した主な産業は「木材」44億円増、「食料品」31億円増

(単位:億円、%)

区分	製造品出荷額等				付加価値額			
	平成30年	令和元年	増減額	増減率	平成30年	令和元年	増減額	増減率
鳥取県	8,055	7,816	△ 240	△ 3.0	2,441	2,476	35	1.4
全国	3,318,094	3,225,334	△ 92,760	△ 2.8	1,043,007	1,002,348	△ 40,660	△ 3.9

(注)平成30年は平成30年1年間、令和元年は令和元年1年間の数値。

増減額・増減率は、調査単位の「万円」により算出した上で、四捨五入している。

3 製造品出荷額等の大きい業種

製造品出荷額等の大きい産業中分類別上位5業種は、「食料品」、「電子部品・デバイス」、「パルプ・紙」、「電気機械」、「金属製品」であり、構成比はすべての業種で全国の構成比を上回っている。

(単位：億円、%)

業種(産業中分類)	本県の製造品 出荷額等	本県の構成比 (A)	全国の構成比 (B)	構成比の差 (A-B)
食料品	1,572	20.1	9.3	10.8
電子部品・デバイス	1,480	18.9	4.4	14.5
パルプ・紙	986	12.6	2.4	10.2
電気機械	870	11.1	5.7	5.4
金属製品	446	5.7	4.9	0.8

「食料品」1,572億円

(主な細分類業種)「冷凍水産食品製造業」388億円、「その他の畜産食料品製造業」186億円

「処理牛乳・乳飲料製造業」X億円、「生菓子製造業」97億円

※事業所数が少数の業種は、製造品出荷額等をX億円(秘匿)とした。

「電子部品・デバイス」1,480億円

(主な細分類業種)「コネクタ・スイッチ・リレー製造業」430億円

「音響部品・磁気ヘッド・小型モータ製造業」354億円

「その他の電子部品・デバイス・電子回路製造業」308億円

「電子回路実装基板製造業」204億円

「パルプ・紙」986億円

(主な細分類業種)「洋紙・機械すき和紙製造業」609億円、「板紙製造業」X億円

「段ボール箱製造業」102億円

「電気機械」870億円

(主な細分類業種)「内燃機関電装品製造業」223億円

「その他の民生用電気機械器具製造業」180億円

「その他の産業用電気機械器具製造業」X億円

「金属製品」446億円

(主な細分類業種)「鉄骨製造業」122億円、「製缶板金業」62億円

4 製造品出荷額等の構成比が、全国より低い業種

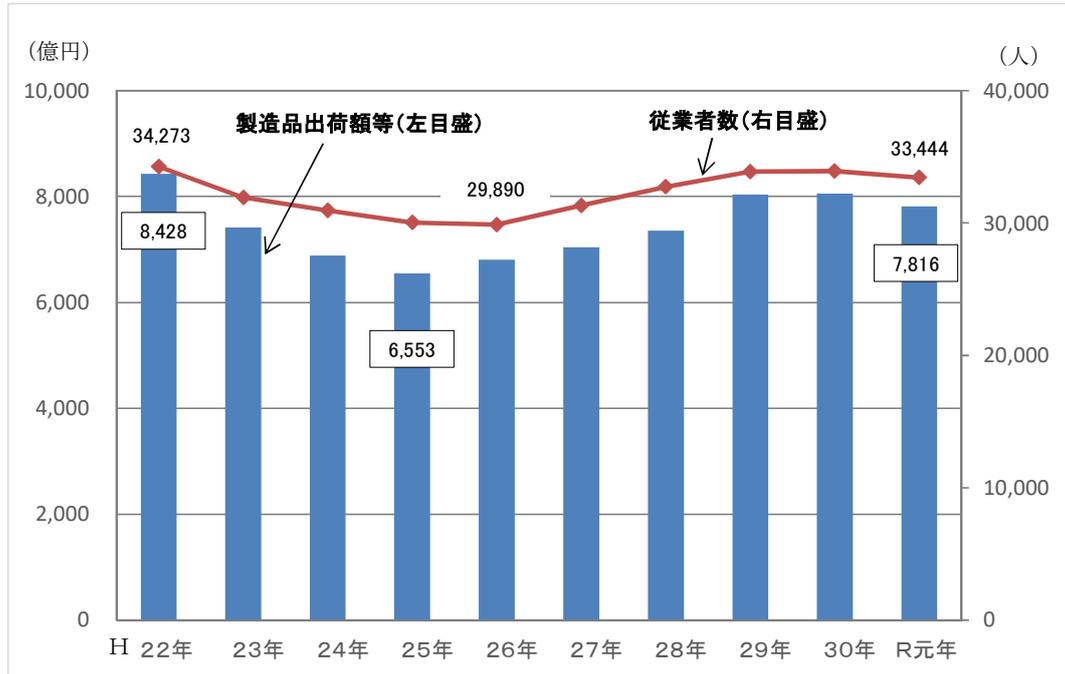
産業中分類別の製造品出荷額等の構成比が、全国の構成比を3ポイント以上、下回っている業種は、「輸送用機械」、「化学」、「石油・石炭」、「生産用機械」、「鉄鋼」の5業種であった。

(単位：億円、%)

業種(産業中分類)	本県の製造品 出荷額等	本県の構成比 (A)	全国の構成比 (B)	構成比の差 (A-B)
輸送用機械	289	3.7	21.1	△ 17.4
化学	52	0.7	9.1	△ 8.4
石油・石炭	22	0.3	4.3	△ 4.0
生産用機械	231	2.9	6.5	△ 3.6
鉄鋼	170	2.2	5.5	△ 3.3

5 製造品出荷額等、従業者数の推移

平成22年以降の製造品出荷額等、従業者数の推移をみると、製造品出荷額等は平成25年まで減少、従業者数は平成26年まで減少していた。その後は、いずれも増加が続いていたが、今回調査では減少となった。



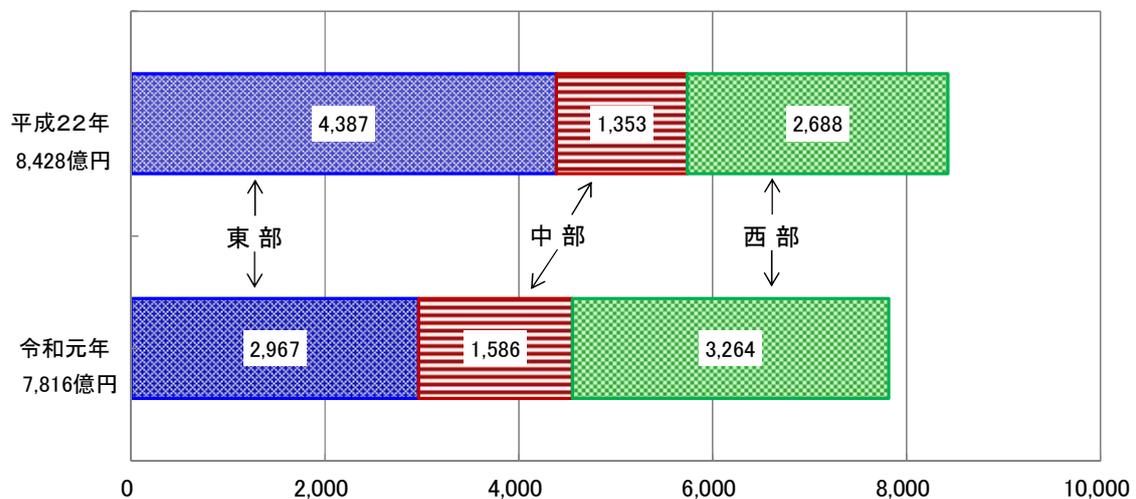
(注) 製造品出荷額等は、各年次における1年間の数値。

従業者数は、平成23年は平成24年2月1日現在、平成27年以降は翌年の6月1日現在、その他の年次は同じ年の12月31日現在の数値。

6 地域ごとの製造品出荷額等

地域ごとの製造品出荷額等をみると、令和元年は「西部地域」が3,264億円で最も大きく、次いで「東部地域」が2,967億円、「中部地域」が1,586億円の順となっている。

- ・東部地域〔鳥取市、岩美郡、八頭郡〕
- ・中部地域〔倉吉市、東伯郡〕
- ・西部地域〔米子市、境港市、西伯郡、日野郡〕



7 製造品出荷額が100億円以上の品目

製造品出荷額が100億円以上の製造品は16品目で、前年に比べて2品目減少した。

区 分	製 造 品 名
食 料 品	「処理牛乳」 「ブロイラー加工品（解体品を含む）」 「冷凍水産食品」
パルプ・紙	「塗工印刷用紙」 「中しん原紙（段ボール原紙）」
電子部品・デバイス	「液晶パネル」 「プリント配線板用コネクタ」 「スイッチ」 「プリント配線実装基板」 「他に分類されない電子部品・デバイス・電子回路」
（ そ の 他 ）	「普通合板」 「鍛工品」 「鉄骨」 「電力変換装置」 「携帯用通信装置（可搬用を含む）」 「自動車用内燃機関の部分品・取付具・附属品」

※2020年工業統計調査の確報集計結果は、次のホームページに掲載しています。

- ・鳥取県統計課HP <https://www.pref.tottori.lg.jp/kougyou/>
- ・経済産業省HP <http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/kougyo/index.html>